

## 小テスト問題用紙

つぎの取引について仕訳をしなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	小口現金	受取手形	売掛金	繰越商品	仮払金	前払金	
未収金	支払手形	買掛金	当座借越	未払金	前受金	仮受金	現金過不足	
売上	雑益	手形売却益	仕入	発送費	通信費	交通費	雑損	手形売却損

- A (1) 新品種のキュウリ苗の注文をし、予約金 ¥20,000 を現金で支払った。  
(2) 友人にせん定鉄の購入を依頼し、概算金 ¥10,000 を現金で渡した。  
(3) 米の予約注文を受け、予約金 ¥10,000 を現金で受取った。

下記のB(1)、(2)、(3)は一連の取引として仕訳しなさい。

- B (1) 商品10個を仕入れ、代金 ¥100,000 は現金で支払った。  
(2) 商品のうち7個を ¥105,000 で売上げ、代金は現金で受取った。  
(3) 商品の売残り分を、決算にあたり、仕入勘定から繰越商品勘定へ振替えた。

- C (1) 大阪商店から商品 ¥400,000 を売上げ、代金は掛けとした。  
(2) 長崎商店から商品 ¥300,000 を仕入れ、代金は掛けとした。  
(3) さきに愛知商店から掛付けで仕入れた商品のうち、¥20,000 が品違いであたため返品した。  
(4) さきに愛知商店から掛付けで仕入れた商品の一部に傷があったため、6,000 円の値引きを受けた。  
(5) 関西商店より商品 ¥200,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 ¥3,000 は現金で支払った。  
(6) 九州商店へ商品 ¥100,000 を売上げ、代金は掛けとした。なお、発送運賃 ¥7,000 は現金で支払った。

- D (1) 関東商店より売掛金の回収として、郵便為替証書 ¥500,000 を受取った。  
(2) 東北商店に商品 ¥600,000 を売上げ、代金のうち ¥400,000 は同店振出の小切手で受取り、残額は現金で受取った。  
(3) 北海道商店に対する買掛金の支払いとして小切手 ¥60,000 を振出した。

下記のE(1)、(2)は一連の取引として仕訳しなさい。

- E (1) 金庫の現金を調べたところ現金出納帳の残高より ¥1,000 不足していたので、その不足分を現金過不足勘定に振替えた  
(2) 現金不足の原因を調べたところ、通信費 ¥700 の記帳漏れを発見したが、その他については不明であるため適切に処理することにした。

下記のF(1)、(2)は一連の取引として仕訳しなさい。

- F (1) 関西商店より商品 ¥600,000 を仕入れ、代金は小切手を振出して支払った。なお、当座預金勘定の残高は ¥200,000 であり、借越限度額 ¥500,000 の当座借越契約を結んでいる。  
(2) 東海商店より売掛金の回収として ¥500,000 の小切手を受け取り、ただちに当座預金とした。

下記のG(1)、(2)は一連の取引として仕訳しなさい。

- G (1) 当社では定額資金前渡制を採用し、小口現金 ¥30,000 を小切手を振出して小口現金係に前渡した。  
(2) 小口現金係から次のような報告を受けたので直ちに小切手を振出して補給した。  
交通費 ¥9,000、通信費 ¥20,000

- H (1) 仕入先東京商店に対する買掛金 ¥200,000 を支払うために、約束手形 100 を振出して手渡した。  
(2) 上記手形の決済期日につき、上記手形代金を当座預金口座を通じて東京商店に支払った。  
(3) 仕入先東京商店に対する買掛金 ¥200,000 を支払うために得意先上野商店を名宛人とする為替手形を振出し、上野商店の引受けを得て東京商店に手渡した。  
(4) かねて、埼玉商店から受取った約束手形 ¥600,000 を取引銀行で割引き、割引料 ¥8,000 を差し引かれた残額を当座預金とした。

	仕 訳			
	借方科目	金額(円)	貸方科目	金額(円)
A (1)				
B (1)				
C (1)				
D (1)				
E (1)				
F (1)				
G (1)				
H (1)				